

ぼらんていあ倶楽部



西東京ボランティア・市民活動センター

〒188-0011

西東京市田無町 5-5-12 田無総合福祉センター

TEL 0424(66)3070 FAX 0424(66)3555

E-mail: info@nishitokyo-vol.jp

- 都市の中の7万坪の緑地 - 東大農場のみどりの大地を残したい

東大農場のみどりを残す市民の会代表 宮崎啓子

西東京市緑町の東大農場7万坪が千葉市検見川に移転します。田無駅北口から歩いて7～8分、市のだ真ん中の一等地7万坪が移転後どうなるのか。7万坪(22.2ha)といえば、東京ドーム5個分、今話題の六本木ヒルズ再開発の2倍の広さです。合併後の西東京市のまちづくりの上で、市民力、市の行政力が問われる最大の課題です。

2004年4月11日、20回に及ぶ準備会、研究会を重ね、東大・市・市議会とも連携しつつ、農場のみどりの大地を残し、活かすことを共通の目標に偏らない幅広い市民の団体として「東大農場のみどりを残す市民の会」が発足しました。保谷高範西東京市長、地元選出国會議員、都議會議員からも熱いエールが送られました。

当日の特別講演「農に対する関心の深まりと都市のみどりの役割」で、東京大学武内和彦教授は、「都市公園の原風景は農である。公園の役割は市民の憩いの場であるとともに、都市の多様な生物の生息を可能とし、都市環境の悪化を緩和させることにある。都市に残された貴重なみどりとしての農場を、本来の意味での都市公園として継承していく運動を期待したいし、我々も協力を惜しまない」と話されました。

会の活動

現在会員数は、ジュニア会員も含め430名、「広報委員会」「組織づくり委員会」「みどり継承検討委員会」を三本柱に、会報「まちの里山(季刊)」発行、HP、農場定例見学会、地域集会、子どもエコクラブ、学習会等の地道な活動を設け、毎月第3水曜日、午後7時からの定例運営委員会は会員だけでなく、誰でも自由に参加、発言できる開かれた会です。(ご参加下さい)

定例活動と平行して、現在は、10月2日「第2回アースデイ in 西東京」開催に向けフル活動中で、10月1日夜イベントをして、六都科学館新館長(NHK解説委員)高柳雄一氏の講演も決定。来年1月21日にはジャズ歌手鈴木重子さんを囲む市民コンサートも企画中です。「東大農場にみどりを残そう」という私たちのローカルな活動はグローバルな地域環境を守る活動へとつながっています。目的達成の鍵は、私たち市民一人ひとりの手の中にあります。

このところ小学校の国語、道徳の教科書にもとりあげられている童謡詩人金子みすずの詩集の中に、こんな詩を見つけました。

このみちのさきには 大きな森があらうよ
ひとりぼっちの榎よ このみちをゆこうよ
中略
このみちのさきには なにかなにか あらうよ
みんなでみんなで行こうよ このみちをゆこうよ



ファーストステップ講座

東大農場に来る鳥や草花が四季折々私たちを楽しませてくれます。移転した後の農場の行方を「東大農場のみどりを残す市民の会」の宮崎啓子さんと一緒に考えてみませんか。 9月18日(土)

アイマスク体験・点訳体験
視覚障がいの方に出会ったら、どんなお手伝いができるでしょう。やさしい誘導・点字の基本を学びます。 10月16日(土)



ファーストステップ講座 毎月第3土曜日開催 13:30～15:00 参加費:無料
(年間予定) 場所:西東京ボランティア・市民活動センター活動室(田無総合福祉センター4階)

'04年9月18日	東大農場の緑を残す市民の会	12月18日	高齢者疑似体験・朗読体験
10月16日	アイマスク体験・点訳体験	'05年1月15日	知的障がいについて
11月20日	精神障がいについて(ハーモニー)	2月19日	車椅子体験・手話体験

孤独な思いや不安な気持ちに寄り添って、ひたすら耳を傾ける傾聴ボランティアの養成講座を開催します。傾聴体験を通して「自分を知る」ことから始め、ロールプレイング（受講者がカウンセラーと相談者の役をそれぞれ演じる実習）で、カウンセリングの基本である「傾聴」の技法を学びます。

日程 平成 16 年 9 月 29 日～12 月 1 日（全 8 回＋活動体験） 水曜日 9：30～11：30

会場 田無総合福祉センター 西東京市田無町 5-5-12

定員 30 人（応募者多数の場合は抽選）

参加費 6,000 円（別途ボランティア保険代 300 円）

申込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・講座名・参加動機を明記して、9 月 11 日（必着）までに下記へお送りください。

〒188-0011 西東京市田無町 5-5-12 西東京ボランティア・市民活動センター
お問合せは西東京ボランティア・市民活動センターへ 0424-66-3070



傾聴講座をきっかけに

西東京市田無町 長田範子



カウンセリングに興味を持ち、他の講座を受講したこともあります。西東京ボランティア・市民活動センターの第 1 回目の養成講座受講をきっかけに、傾聴ボランティアの活動に参加することが出来ました。現在は週 1 回、2 施設において特定・不特定の 5～6 名の方を 30 分から 1 時間くらいずつ現場にて臨機応変に対応させていただいております。傾聴に出かける前に「今日はどんなお話を聞かせていただくようにしようか、また、どのように応対しよう」等々、気が重くなるときもありますが、やはりその都度多くのことを学ばせていただけることを実感しています。

先日、傾聴を終え帰り際に、ある 70 歳代の痴呆の女性の方が独り言を、過ぎし遠い日のわが子に何やら言い諭している様子、切れ間なくつぶやいていました。思わず傍に駆け寄り、私自身の納得の中で返事をしたり、うなずいたりしました。お別れに握手をと手を握ったとき、冷たい手をしていました。私の手が暖かく感じたのでしょう。「あったかーい、あったかーい」と初めて私の顔を目を丸くして見ました。今、私から何かが届いていると感じ、とても嬉しくなりました。

第一期生で立ち上げた「きずな」にも入会し、様々な経験談や悩んでいること等を話し合ったり、また、専門に学んでいる方やスーパーバイザーのアドバイスもあり、自分自身のためにも正しいスキルを身に付けたいと思っています。高齢者に限らず、世代を問わず、活動していけたらと願っています。

三宅島『帰島宣言』 ～帰島への大きな一歩～

西東京市柳沢 北川由紀

平成 12 年 9 月 2 日の全島避難指示で島を離れ、すぐに帰れると信じていたのに、あっという間の 4 年が過ぎようとしています。

待ちに待った帰島の知らせですが、長い避難生活は身も心も少しずつリズムを狂わせていました。90 歳になるまで病気知らずで畑の手入れをするのが最高と言っていた義母も胃ガンになり、入退院を 3 回ほど繰り返しました。痴呆も進み、昔のことばかり話し、東京だとわかるとビックリすることもたびたびです。主人も 2 月に不整脈の手術を受けましたが、今は元気で元通り島で仕事をしています。

昭和 49 年に田無から三宅島に嫁ぎ、自然のすばらしさの中で子ども 2 人を育て、幸せに生きていたのですが、昭和 58 年の噴火で義父の家も私たちの家も犬もすべての物や思い出も溶岩に飲み込まれ、残った土地に現在の家を建て、ゼロからの再出発でした。まさか、17 年目にまた噴火災害に直面するとは、しかもガスのために 4 年も帰島できないとは予想もできませんでした。ガスとの共生で島へ戻ると決めているのですが、我が家はガスの高濃度地区に指定され、自宅に住むことが不可能との事、すごいショックです。専門家ですらわからないガスの終息。不安との隣りあわせで暮らす生活...少し迷いもあります。

私は島で障害者の地域サービス事業を社協と協力して運営していましたが、利用者の方々も都内に入所して、帰りたくても帰れない身体になってしまい、帰る人数が少なく補助事業が成り立たないのが現状です。娘も心臓病があり、義母の身体のことなど考えると、私は少し帰島が遅くなるかなーと思っています。

西東京市のボランティア活動に参加したかったのですが、義母 90 歳、実母 82 歳の介護に追われ、また三宅島のコールボランティアとして高齢者に電話で声かけを 3 年近くやっています。バラバラになった住民たちのつながりが失われず、必ず帰島できるからそれまで頑張っねと声かけしながら、自分も皆から励まされていました。

西東京市の皆様には、歳末助け合いなどで大変なご支援をいただきながら何も出来ず、心苦しい気持ちでいっぱいです。来年には帰島が可能となりますが、いつか何かの形で恩返しが出来ればと思っています。

本当にご支援ありがとうございました。

ボランティア活動室 12月から3月までの利用予約を受付けます

12月1日から'05年3月31日までの利用の予約を受付けます。

受付期間：10月1日（金）～10月12日（火）

決 定：10月25日（月）以降、各活動室に結果を張り出します。

活 動 室：1. 田無活動室（田無町5-5-12）

月～土曜日（第2・4日曜日、祝日、年末年始を除く）

2. 保谷活動室 第1・第2（中町2-1-3）

月～金曜日（祝日・年末年始を除く）

利用対象：ボランティア活動や市民活動を目的とした団体または個人

申 込 み：当センターまたは、各活動室に設置してある申し込み用紙にご記入の上、直接お持ちいただくか郵送、ファックスでお送り下さい。

FAX 0424 - 66 - 3555

郵送 〒188-0011 西東京市田無町5-5-12 田無総合福祉センター4階

西東京ボランティア・市民活動センター



ボラセンの夏ボラレポート

毎年夏休み期間中に開催している「夏！体験ボランティア西東京」が今年も行なわれました。今年では中学生から社会人まで、135人の参加者がありました。

連日の猛暑の中、皆真剣に、そして楽しみながらボランティアを体験しているようでした。

ボランティア活動を体験したい人、将来の夢に向けて学ぼうとしている人、人とのふれあいを求めて参加した人...目的は人それぞれでしたが、夏のよい思い出になったのではないのでしょうか。

市民活動団体状況カードをご活用ください

西東京ボランティア・市民活動センターでは、市内で活動している市民活動団体のみなさんにどのような活動をしているのかをお知らせいただき、団体の特徴、活動日、どのような人を募集しているか等、団体ごとにカードにまとめました。あなたにあった活動を行っている団体があるかもしれません。どうぞご活用ください。

カードは、西東京ボランティア・市民活動センターで閲覧することができます。必要なところをコピーすることもできます。（有料：1枚10円）

また、市民活動団体状況調査にご協力をいただいた団体のみなさま、どうもありがとうございました。これからも継続して新たな団体の状況カードの受付をしていきますので、まだご提出いただいていない団体の皆さまはぜひ、ご協力をお願いいたします。

お願い

メールアドレスを登録している方の中に、西東京ボランティア・市民活動センターからメールを送れない方がいます。アドレスを変更した方は、新しいアドレスをお知らせ下さい。またドメイン指定等各種設定をされている方は、センターからのメールが届くよう設定変更をお願い致します。

代表 info@nishitokyo-vol.jp

片寄 katayose@nishitokyo-vol.jp

今林 imabayashi@nishitokyo-vol.jp

NPO 法人ごみ問題5市連絡会

1994年、柳泉園ごみ焼却場建て替え問題がおき、ごみ排出量を大きく上回る日量380トン炉の計画が発表されました。大型焼却炉はごみを増やすことになり、ごみ焼却から発生する健康被害、環境負荷の面で問題があり、市民参加で考えたいと、東久留米、清瀬、西東京の3市及び周辺市の市民によって、「ごみ問題5市連絡会」を結成しました。運動を続けるうちに、建設受注に伴う不明な事実が次々と明らかになり、それをいくつかの裁判に委ねたのですが、判決はすべて行政よりのもので残念な思いをしました。しかし、運動の結果焼却炉は315トンに押さえられたのです。税金のむだ遣いを抑えることに貢献したと自負します。10年続いた運動は土壌のダイオキシン、鉛、カドミウムの調査、ごみ問題の先進市の見学、調査等、提案型NPOとして活動してきました。ごみ問題の解決はごみ排出量削減にかかっています。皆様方のご参加によりごみ問題、環境問題をご一緒に解決して行きませんか。

理事 村瀬敬子 西東京市緑町1-8-3-508 TEL 0424-67-0061

E-mail: murase@f7.dion.ne.jp

はじめよう！市民活動

～NPO・ボランティア活動入門～

日 時：11月6日（土）13：30～16：00

場 所：東久留米市中央図書館視聴覚室

参加費：500円

定 員：70人（定員になり次第締め切り）

申込み：西東京ボランティア・市民活動センター

TEL 0424 - 66 - 3070 FAX 0424 - 66 - 3555

E-mail: info@nishitokyo-vol.jp

使用済み切手・使用済みカード・ロースタ クーポンの収集にご協力ください。

集められた切手・カード・クーポンはボランティアによって整理され、福祉の向上に役立てられています。

西東京ボランティア・市民活動センターへ

NPO紹介

地域福祉活動の拠点「しらうめ」をご利用ください

西東京市社会福祉協議会では、住民相互の輪をひろげ、共に支えあう地域社会をつくるための活動に利用していただくための活動拠点（部屋）を用意しました。例えば、高齢者の茶話会や住民活動の話し合いなどにご利用いただけます。詳しくは、下記へお問い合わせください。

1. 利用いただける方

身近な地域で住民相互の助け合いの輪を広げ、共に支えあう地域社会づくりを目指すふれあいのまちづくり事業を推進するとともに、地域のニーズを発見し解決するためのしくみをつくることを目的とした活動をする団体、個人

2. 利用の登録

利用する団体、個人は西東京市社会福祉協議会への登録が必要です

3. 利用の申し込み

利用しようとする日の3月前の同日から利用申し込みができます

4. 拠点の場所

西東京市下保谷5-13-19 コーポフェリカ105号室

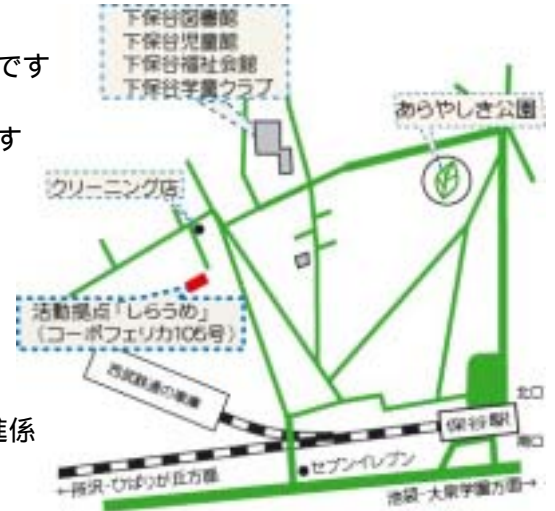
拠点の名称：「しらうめ」

5. 利用できる時間

午前9時から午後9時 午後7時以降は会議のみ利用可
(12月29日から1月3日の年末年始は利用できません)

6. 利用料金 無料

【お問合せ】社会福祉法人西東京市社会福祉協議会 地域福祉推進係
TEL 0424 - 38 - 3771 FAX 0424 - 38 - 3772



社会福祉助成事業

社会福祉関係者の専門性向上などを目指した「研修事業」や「調査研究事業」また地域社会で草の根的に取り組んでいる「先駆的事业」に一部助成することにより、豊かな福祉社会の実現に寄与することを目的とします。

【対象事業】

集合研修...福祉サービスのあり方や専門的知識、技能の習得などをテーマとする集合研修事業（研修会、セミナー、講習会など）

調査研究...社会福祉関係者の専門性の向上、就労、福利厚生などをテーマとする調査研究事業

実践研究...各福祉分野の先駆性ある事業の実践を通して行われる成果、課題のまとめなどの研究事業

【助成額】事業全体予算の80%以内

は50万円を上限 は100万円を上限

【対象期間】平成17年4月～平成18年3月末

【応募資格】社会福祉事業や福祉施設の運営、福祉活動などを目的とする法人、団体、グループ

【応募期間】平成16年7月～12月10日

【送付先】〒130-0022 東京都墨田区江東橋4-24-3

財団法人日本社会福祉弘済会 助成事業係

TEL03-3846-2172

大和証券福祉財団ボランティア活動助成

【応募資格】ボランティア活動を目的とした団体・グループ（社会福祉協議会の推薦が必要）

【応募課題】特に在宅老人、障害児・者、児童問題等に対するボランティア活動

【助成金】1件当たり30万円を上限とする。

総額4,500万円

【対象期間】平成17年1月～12月の活動に対して

【応募締切】平成16年9月15日（当日消印有効）

【応募方法】所定の申し込み用紙により財団宛まで

【発表期日】平成16年12月

【送付先】〒103-8219 東京都中央区日本橋

茅場町1-1-9 大和証券兜町ビル

財団法人 大和証券福祉財団

TEL 03-3665-5147 FAX 03-3662-0495



申込書は西東京ボランティア・市民活動センターにあります

コミュニティ・ダンス・ひまわりってご存知ですか？

私たちは目のご不自由な方と晴眼者が“共に踊ろう楽しもう”をモットーにして、社交ダンスもフォークダンスもレクダンスも踊っています。でもそんなに専門的に難度の高いことはしていません。みんな手を取り合ってリズムに乗り、世界中の音楽に合わせて楽しく踊っています。昨年と今年の2回、新座市の福祉フェスティバルに賛助出演をし、拍手喝采を浴びました。今は、10月2日に東大農場で行われる「アースデイ・イン・西東京」に出場するために「ティベアーズ・ピクニック」「おさななじみ」「チャビドリオ」「青い山脈」などを練習しています。皆様のご入会をお待ちしています。

例会場：西東京市民会館 日 時：毎月第4水曜日 14:00～16:00（ただし8月は休会）

連絡先：0424-64-1618（房本）





最近は一時の暑さもだいぶ和らぎ、過ごしやすくなってきました。貧血なので暑さがひどい時はきつかったです。

さて、今回のテーマは実際に大きい病気などをしたときに患者さんが迷うことだと思います。例えば、がんの患者さんが手術に踏み切るか、その他の治療を試してみるかといったところでしょうか。中には治療法の選択肢自体がなかったり、治療法を考えている時間的余裕がない患者さんもいらっしゃると思いますが、私の場合は今の治療に入る前に一年以上の経過観察の時期がありました。

簡単に先の例えのように書くと、私の場合であれば「骨髄移植」をするか「免疫抑制剤」を使ってみるか、はたまた他の薬を考えてみるかでした。でしたと書くとも過去形になってしまうのですが、今も今後の治療の経過次第ではいろいろ検討していかなくてはなりません。

そもそもなぜ迷うのかということ私の場合は経過観察をしていますが、別にすぐ死に至るわけではないからです。ただ何もしないのでは数年単位の限界があるためです。またそれぞれの選択肢には一長一短があるからです。

骨髄移植という治療法は病気自体が完治する確率は一番高いですが、治療がとてもハードなのでそれだけで命を落とす可能性もあります。免疫抑制剤を使った治療だと副作用はそれほどでもないし、危険性もそこまで高くはないのですが効果がない場合もあります。

ただこういった情報は患者さんやその周りの人が集めなくてはなりません。そして結局は患者さん本人がどれが今の自分にとって妥当かどうかを判断しなければなりません。そこで重要なのが「セカンドオピニオン」というものです。これについて次回にいろいろ書きたいと思います。それではまた。長島陽介 yosuke_project@hotmail.com

ようすけプロジェクト ～骨髄バンクを支える学生・市民のネットワーク～ <http://yosukeproject.fc2web.com/>
長島さんは2002年12月(大学3年時)に骨髄異形成症候群という診断を受け、「免疫抑制療法」という治療を受けています。

ボランティアって大変? 第1回 喜びを見つけながら自分のできることを

ボランティア活動をしているという、「あなたって物好きね。よっぽど時間があるのね!」なんて言われたことはありませんか?それとも「偉いわね、大変でしょう?私にはとてもできないわ...」

そんな時、どのように答えればよいのでしょうか。悩んでいますね。サンメール尚和のボランティアさんに尋ねてみました。

「ボランティア活動って大変ですか?」

「大変じゃないわよ、できることしかしないもの」「疲れたなと思うことはあってもお手伝いしたことが喜ばれたりすれば疲れは吹っ飛びますよ」

「暇な時間帯がたくさんあるのですか?」

「とんでもない!仕事もあるし、家には手のかかる家族だっているのよ。でもここに来るといろいろな事を忘れてお年寄りと一緒に楽しく過ごせるの。私のほうが癒されているのかもしれない」

こんな答えが返ってきました。ボランティア活動って案外大変じゃなさそうです。

サンメール尚和 ボランティア担当 渡辺昌美



ボランティア1年生

洞 昌伸

ボランティアを始めたきっかけは大きく二つありました。一つは『人脈を広げる必要が生じた』ということです。今年の春に営業関連の仕事に転職してから、とにかく人脈を広げる必要が出てきたということです。そのための一つの手段として、ボランティアを体験してみようと考えました。

そして、もう一つは『この世に生まれてきた一人として、何らかの社会貢献をしたい』という思いが強くなったということです。特に、これからの時代は少子高齢化が進むため、老人福祉や介護といった問題がまさに“自分達の問題”となります。一人でできることには自ずと限界があるわけですから、高齢化した社会全体でお互いを助け合う『相互扶助』の仕組みを、政治家任せにするのではなく“自分達で作っていく”必要があるのではと感じました。その仕組みを作るにはただ理論を唱えているだけでは何も変わりませんので、とりあえず自らが動いてモデルケースを作っていければ良いのではと考え、ボランティアへの参加を決めました。

活動レポート 優しさにふれて 後藤トイ

平成14年に夏休み学校プールボランティアの募集記事を見てボランティアを始め、3年が経ちました。

現在、障害のある6年生と5年生の男児の体育にも付き添っています。6年生はハードルで手をつないで走りますが、6年生にもなると背も高く、小柄な私が一緒に走るには大変でした。何回かやっているうちに、他の生徒が私のところだけハードルを低くしてくれているのに気がきました。そんな何気ない思いやりを大人になっても忘れてほしくないと思いました。校長先生をはじめ他の先生も子どもも皆優しく、もっと早くからボランティアをやっていたらよかったと思います。子どものために一生懸命やらなければならないと思います。今日はここまで出来たからもう少し、今度はあそこまで、と目標を持ってやっています。

新木場(夢の島)に「ゆめけん」という肢体不自由・知的障害の人たちを対象にしたプール活動があり、そのミニ研修に通っています。顔も付けられないお子さんが、帰る頃には楽しそうに泳いでいます。モットーは笑顔・楽しく・優しく・皆で、だそうです。「ゆめけん」で習ってきたことを西東京に持ち帰り、あわてないでゆっくり、その子にあったやり方でやってあげたいと思います。体験を他で活用させてもらい、自分の勉強にもなっています。皆さんありがとうございます。来年のプールも楽しみにしています。ボランティアをやっていたよかったです。

ボランティア募集

パソコンボランティア

パソコンを教えてください。ボランティアを募集しています。

- 1: 田無町在住 視覚障がいの女性。パソコン購入から手伝ってほしい。
- 2: 富士町在住 脳性まひの女性。パソコン研修受講経験あり。メール等を教えてください。

散歩の付き添い

高齢者のグループホーム入所者とお散歩に行ってください。方を募集しています。痴呆があるため見守りが必要です。田無駅周辺に詳しい方希望。

日時: 9:30~11:30 曜日は相談の上
場所: 年輪ハウス周辺
西東京市田無町 5-4-8 TEL 68 - 7835

デイサービスのお手伝い

デイサービス利用者の見守りと話し相手をしてください。方を募集しています。

日時: 月曜~土曜日 10:00~15:00
午前のみ・午後のみでも可

場所: サンメール尚和(高齢者施設) 担当 渡辺
西東京市新町 1-11-25 TEL 67-8888

その他: 1日活動される方には、昼食が出ます。

学習指導

中学2年生のフィリピン人の男の子が数学・理科を中心に全科目を教えてください。ボランティアを募集しています。日常会話は日本語で大丈夫ですが、文章問題や詩を理解するのが難しいそうです。

日時: 19時頃から希望 曜日と時間は相談の上
場所: 谷戸公民館

障がい児・者の遊び相手

10歳から32歳までの障がい児・者と一緒に楽しく遊んでください。ボランティアを募集しています。

時間: 水曜日 15:00~17:00

第1・2土曜日 13:00~16:00

日曜日 13:00~17:00 または 10:00~17:00

場所: 西東京市周辺

開催: ばんびの会 担当 石井・岡崎

西東京市田無町 6-6-8 辰巳荘 6号室

TEL 67-0560

保育

ロッキー文庫主催の講演会の間、0歳~3歳の子どもたちの保育をしてください。方を募集しています。

日時: 10月30日(土) 10:00~12:30 (集合 9:30)

場所: 芝久保公民館保育室(芝久保町 5丁目)

主催: ロッキー文庫

車椅子サポーター

味の素スタジアムで、FC 東京 VS 鹿島アントラーズ戦に来観した障がい者(車椅子)の介助(観客席・トイレ・売店等への移動)をしてください。ボランティアを募集しています。

日時: 9月26日(日) 集合~18:00頃まで

集合 11:30~12:00 キックオフ 15:00

場所: 味の素スタジアム(調布市西町 376-3)

手芸のお手伝い

入所者の手芸、刺し子、ネット手芸などの手伝い。

時間: 毎週金曜日 13:00~15:00(集合 12:50)

その他: 隔週でも可

入浴のお手伝い

デイサービス利用者の浴室まで移動介助や入浴後の整髪・着替えの手伝いをしてください。ボランティアを募集しています。(入浴介助はしません)

日時: 毎週水・木曜日 10:00~15:30(集合 9:50)

その他: 隔週・週一回でも可。午前のみでも可

場所: 緑寿園(高齢者施設) 担当 郷田

西東京市新町 1-11-25 TEL 62-1188

デイサービスのお手伝い

高齢者のデイサービスのお手伝いをしてください。ボランティアを募集しています。週に1回でも可

日時: 月曜~金曜日 時間と曜日は相談の上

10:00~12:00 または 13:00~15:00

配下膳...12:00~13:30 書道...午後

将棋・麻雀...午前・午後どちらでも可

場所: 保谷苑デイサービスセンター 担当 山下

西東京市栄町 3-6-2 TEL 23-8162

お問い合わせは西東京ボランティア・市民活動センターへ TEL 0424-66-3070

ボランティア保険Q & A

Q ボランティア活動で使用するために第三者から借りてきたCDラジカセを、借主のボランティアが、活動中に壊してしまった場合、ボランティア保険で補償してもらえるのでしょうか。

A ボランティア自身の所有物ではなく、第三者から借りたものに対する損害ですので補償されます。ただし、補償されるのは、ボランティア活動中および活動場所への往復途中中であり、それ以外の自宅保管時等は対象となりません。

*ぼらんていあ倶楽部は市内の次の施設、機関でも入手できます。ご利用ください。

西東京ボランティア・市民活動センター 西東京市社会福祉協議会 市役所 郵便局 公民館 図書館 地区会館
老人福祉センター 福祉会館 消費者センター こもればいホール ふれあいセンター スポーツセンター
ファミリーマート(中町店) スポーツクラブプライゾ

